

2025年5月9日

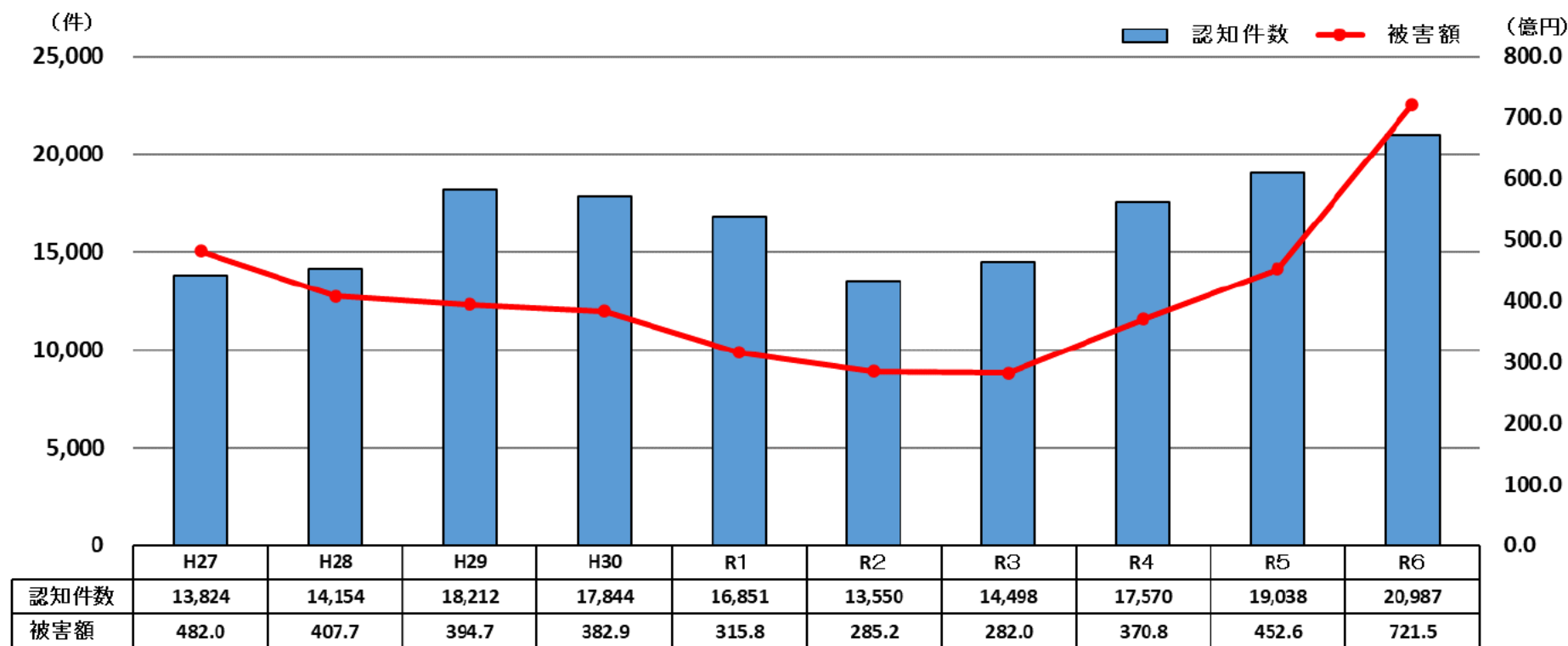
I C Tサービスの利用環境の整備に関する研究会
不適正利用対策に関するワーキンググループ

特殊詐欺の被害状況と通信技術の悪用実態

警 察 庁

- **特殊詐欺の被害状況**
- 近年の特殊詐欺被害の手口の特徴
 - ▶ 携帯電話利用の被害増加
 - ▶ 国際電話の犯行利用増加
 - ▶ 電話番号を偽装する手口
- いわゆる「闇バイト」による犯罪と政府の対応について

令和6年中の特殊詐欺の被害状況(暫定値)



令和6年中の被害状況

◆ 認知件数

20,987件

(前年比+1,949件、+10.2%)

◆ 被害額

721.5億円

(同+269.0億円、+59.4%)

◆ 特徴

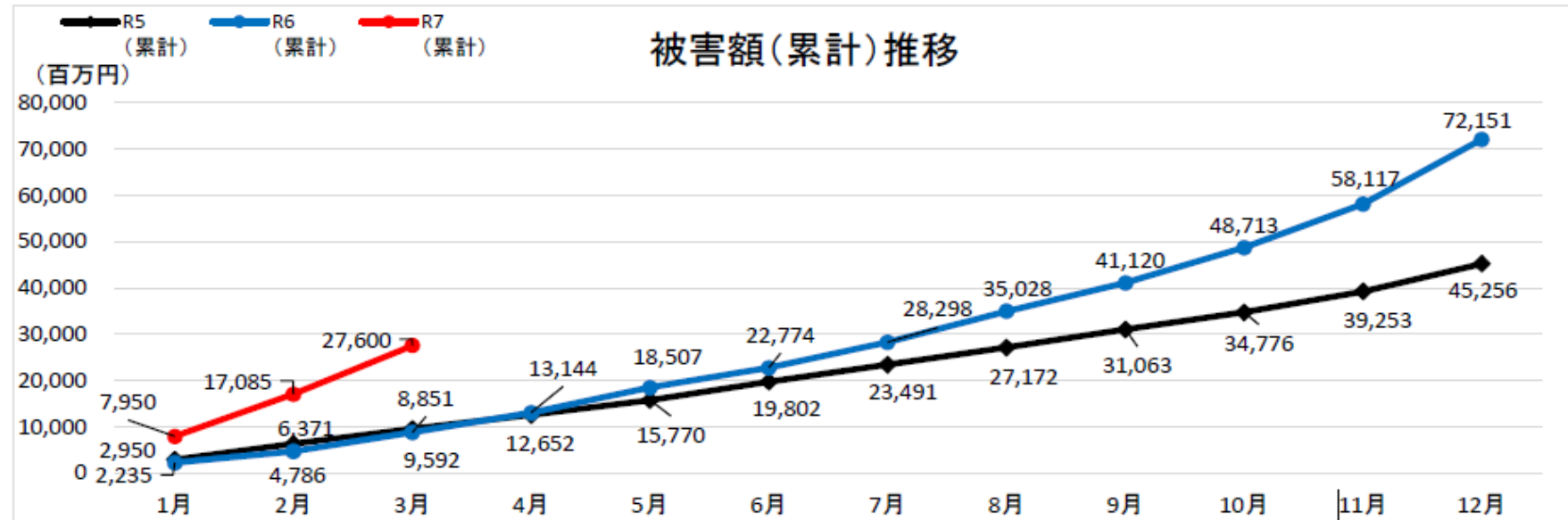
- ・ **振込型**：総認知件数の52.6%、被害額は431.4億円(前年比+236.2億円)
被害額500万円以上では、**IB利用の認知件数・被害額ともに、約6割**に上る
- ・ **キャッシュカード手交・窃取型**：総認知件数の18.1%、被害額は46.4億円
- ・ **現金手交型**：総認知件数の15.3%、被害額は140.3億円
- ・ **電子マネー型**：総認知件数の10.9%、被害額は18.4億円
- ・ **現金送付型**：総認知件数の2.0%、被害額は43.6億円
- ・ **高齢者(65歳以上)被害**：認知件数は13,707件(前年比-1,188件、-8.0%)
被害者数(法人除く)の65.4%

令和7年1月～3月の特殊詐欺の被害状況(暫定値)

○令和7年1月～3月の特殊詐欺の認知・検挙状況(前年同期比)

	令和7年	令和6年	増減		令和6年
	1月～3月	1月～3月	件/円/人	比率(%)	1月～12月
認知件数	6,220	3,741	+2,479	+66.3%	20,987
うち既遂	6,063	3,662	+2,401	+65.6%	20,467
実質的な被害総額(億円)	276.0	88.5	+187.5	+211.8%	721.5
既遂1件あたりの被害額(万円)	455.2	241.7	+213.5	+88.3%	352.5
検挙件数	1,405	1,354	+51	+3.8%	6,595
検挙人員	477	469	+8	+1.7%	2,320

○令和5、6、7年の特殊詐欺の被害額の推移

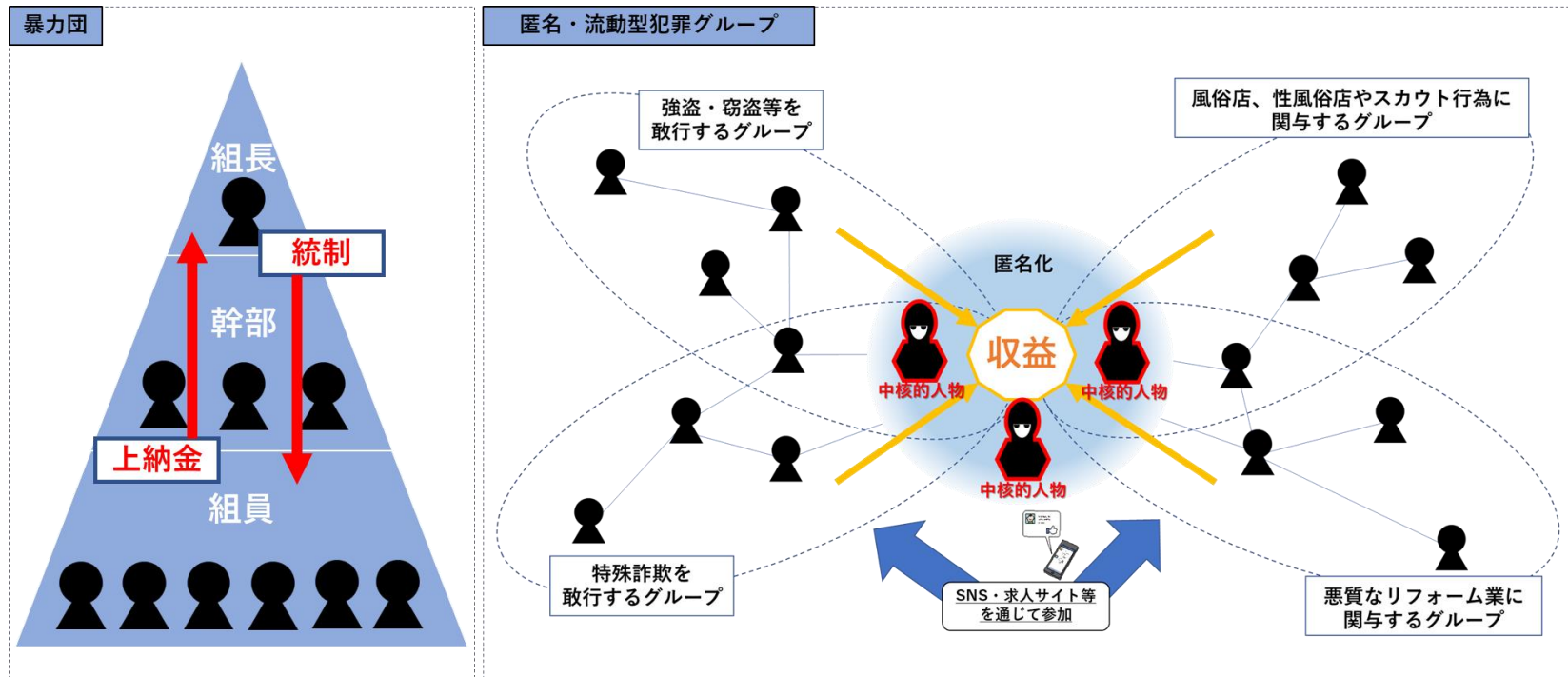


匿名・流動型犯罪グループとその対策

近年、

- 各種犯罪により得た収益を吸い上げる中核部分は匿名化
- SNS等を通じ緩やかに結びついたメンバー同士が役割を細分化し、メンバーを入れ替えながら多様な資金獲得活動を敢行

といった新たな特徴を有する犯罪集団が治安対策上の脅威となっている状況を踏まえ、警察庁ではこれらの特徴を有する犯罪グループを「匿名・流動型犯罪グループ」と位置付け、戦略的な実態解明・取締りを推進している。



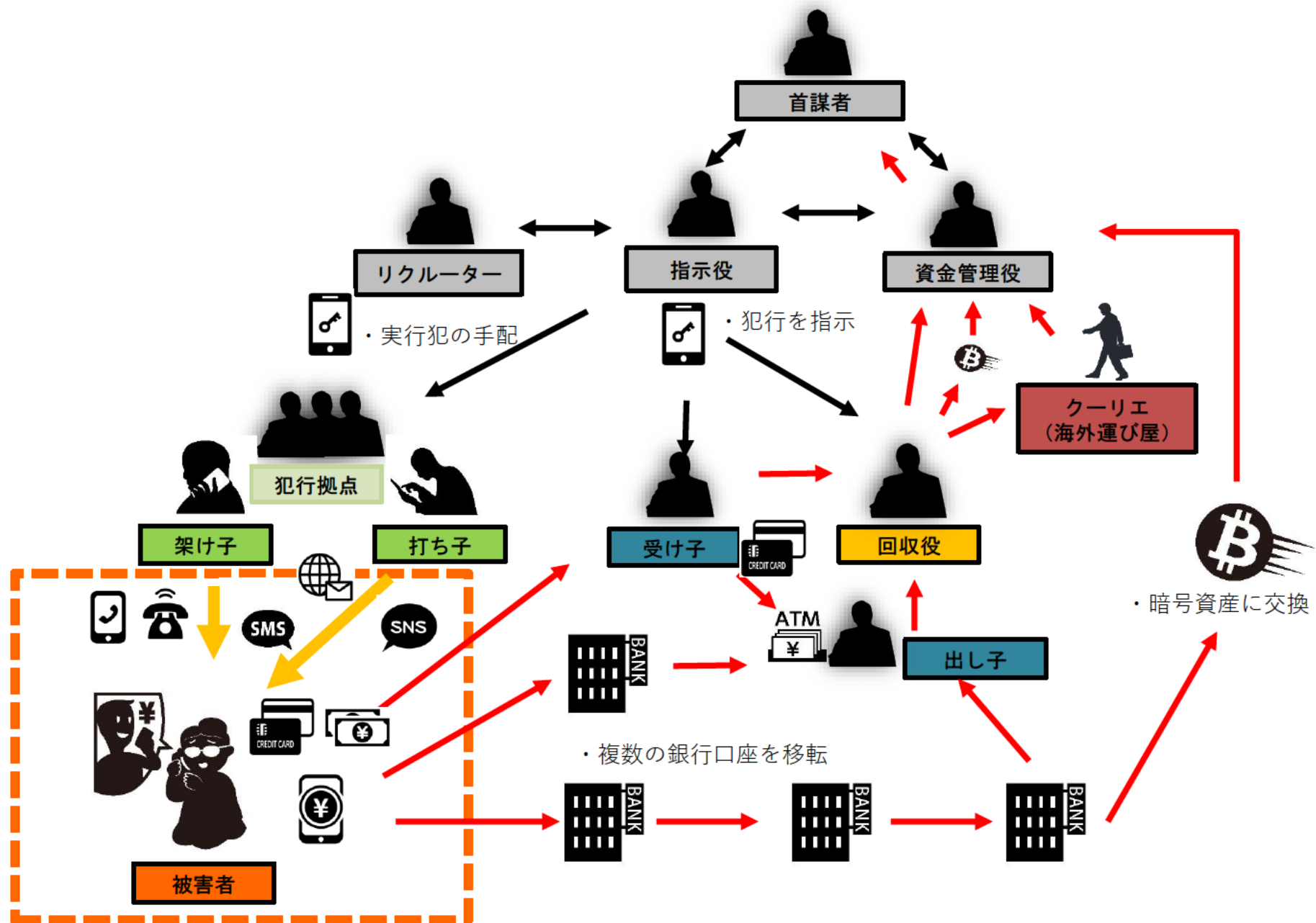
(参考) 匿名・流動型犯罪グループによるものとみられる主な資金獲得犯罪の検挙人員 (令和6年確定値)

罪名	詐欺	窃盗	薬物事犯	強盗	風営適正化法	合計
区分						
令和6年1~12月 検挙人員 (人)	2,655(1032)	991(311)	917(127)	348(64)	292(14)	5,203(1548)

※()内は、犯行への応募・加担の経緯が、SNSによる犯罪実行者募集情報に該当する場合の検挙人員。

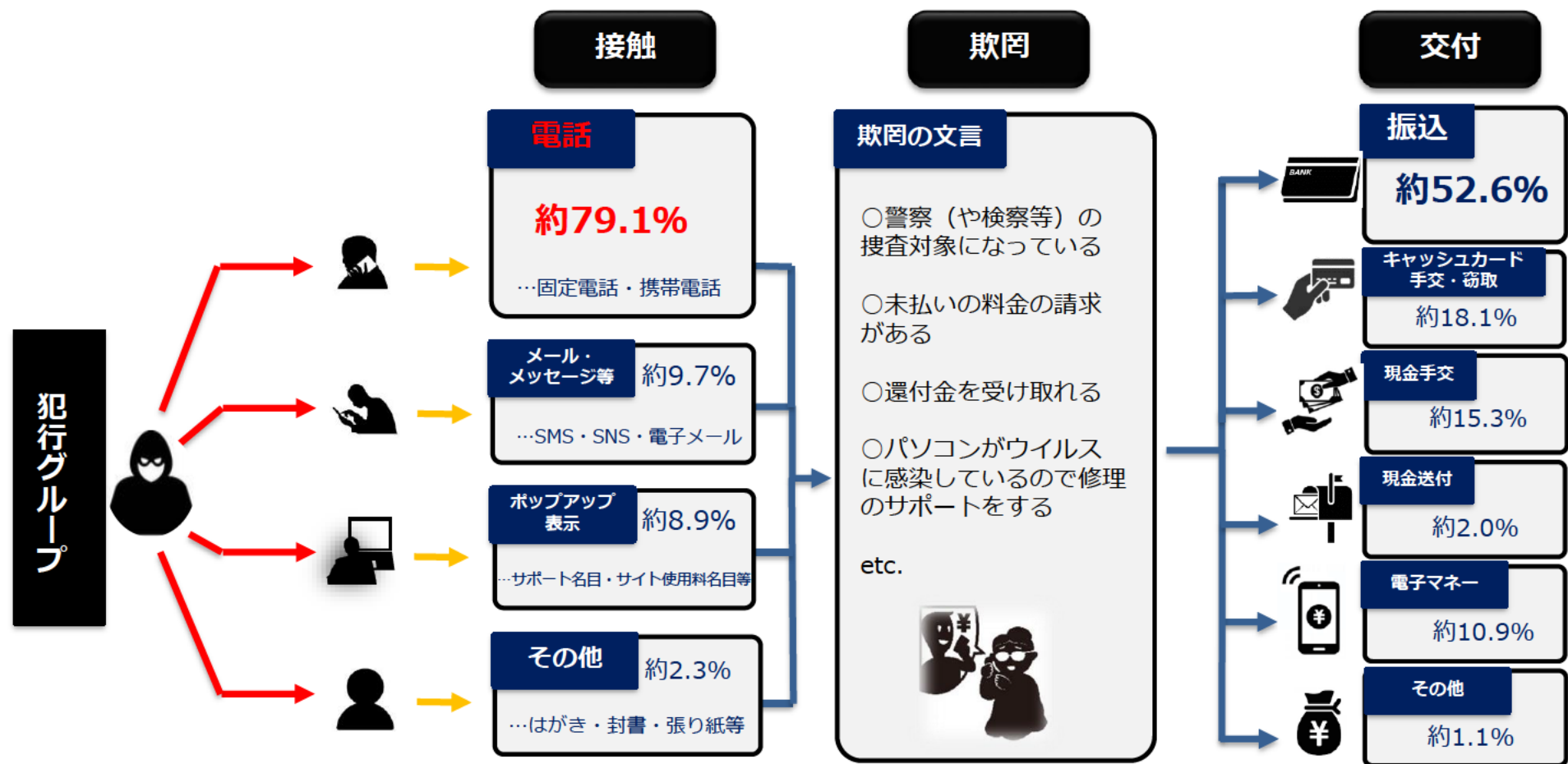
- 特殊詐欺の被害状況
- 近年の特殊詐欺被害の手口の特徴
 - ▶ 携帯電話利用の被害増加
 - ▶ 国際電話の犯行利用増加
 - ▶ 電話番号を偽装する手口
- いわゆる「闇バイト」による犯罪と政府の対応について

匿名・流動型犯罪グループによる特殊詐欺等の犯行実態（イメージ）



特殊詐欺被害の入口（犯人側からの最初の接触手段）

- 令和6年中の特殊詐欺被害の**約8割が電話**による接触から始まっている。
- メール・メッセージ等、ポップアップ表示もそれぞれ1割程度。



※ 令和6年中の被害における最初の接触手段の割合（件数ベース）
※ 「メール・メッセージ等」は、SMS（ショートメッセージサービス）、SNS（ソーシャルネットワークサービス）、従来のEメール等を含む。
※ 「ポップアップ表示」は、パソコン、スマートフォン等を使用してウェブサイト閲覧中にポップアップが表示された事案を含む。

※令和6年中の被害における金銭等の交付形態の割合（件数ベース）

特殊詐欺被害の入口の変化

○犯人側から被害者の**携帯電話に架電する割合の増加が顕著**。

犯人側からの最初の接触手段		R7(3月末暫定値を4倍したもの)		R6(暫定値)		R5(確定値)	
		被害届受理件数	比率	被害届受理件数	比率	被害届受理件数	比率
電 話 (被害者側)		19,660	79.0%	16,599	79.1%	14,756	77.5%
	固 定 電 話	11,920	60.6%	12,328	74.3%	13,355	90.5%
	携 帯 電 話	7,644	38.9%	4,239	25.5%	1,387	9.4%
	不 明	96	0.5%	32	0.2%	14	0.1%
メール・メッセージ等		2,804	11.3%	2,037	9.7%	1,741	9.1%
	S M S	648	23.1%	642	31.5%	1,143	65.7%
	S N S	1,916	68.3%	1,278	62.7%	496	28.5%
	そ の 他	240	8.6%	117	5.7%	102	5.9%
ポップアップ表示		1,744	7.0%	1,858	8.9%	2,328	12.2%
	サ ホ ー ト 名 目	1,428	81.9%	1,542	83.0%	2,175	93.4%
	サイト利用料名目	56	3.2%	135	7.3%	69	3.0%
	そ の 他 名 目	260	14.9%	181	9.7%	84	3.6%
ウェブサイト (R7のみ)		584	2.3%	-	-	-	-
その他		88	0.4%	493	2.3%	213	1.1%
計		24,880	100.0%	20,987	100.0%	19,038	100.0%

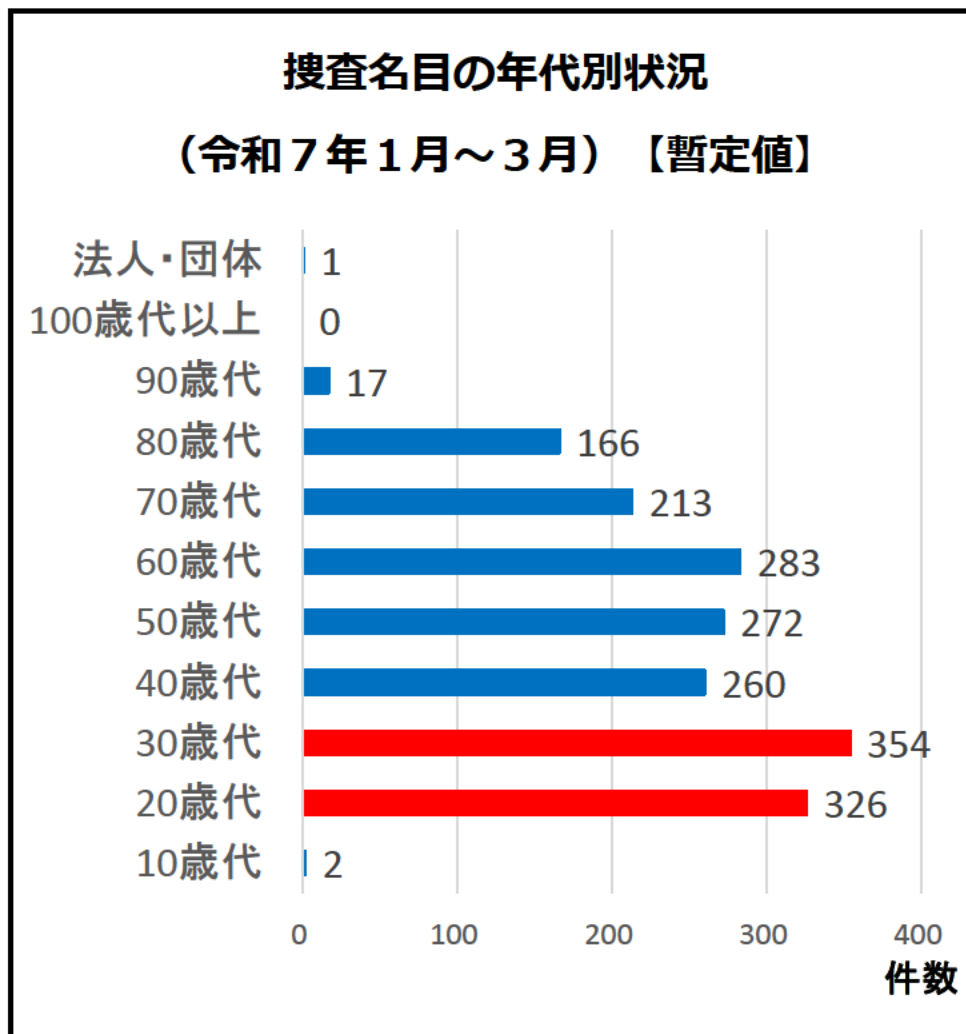
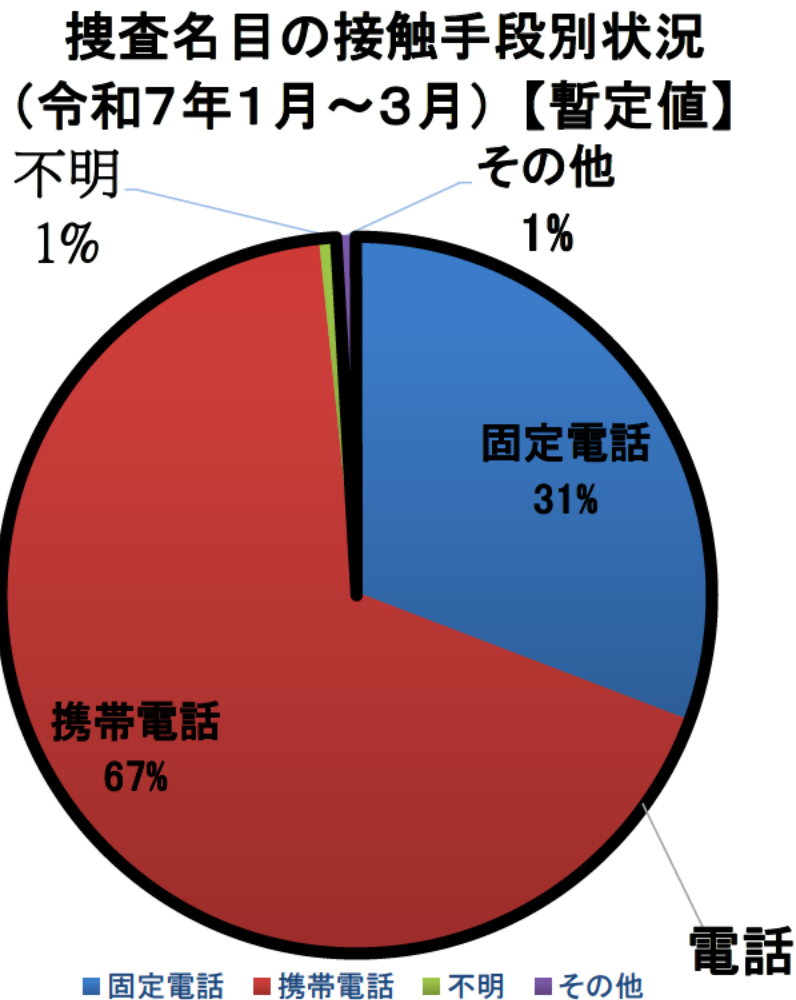
※ 「電話」の固定電話、携帯電話、不明は被疑者から電話を受けた際の被害者側の電話種別を計上。

※ 「メール・メッセージ等」は、SMS（ショートメッセージサービス）、SNS（ソーシャルネットワークサービス）、従来のEメール等を含む。

※ 「ポップアップ表示」は、パソコン、スマートフォン等を使用してウェブサイト閲覧中にポップアップが表示された事案を含む。

特殊詐欺被害の入口の変化(続)

○急増している**警察官騙り**（捜査・優先調査名目）の手口では、犯人側が**被害者の携帯電話に架電するものが約7割**。同手口では、**20～30歳代**をはじめとする若年層の被害が目立つ。

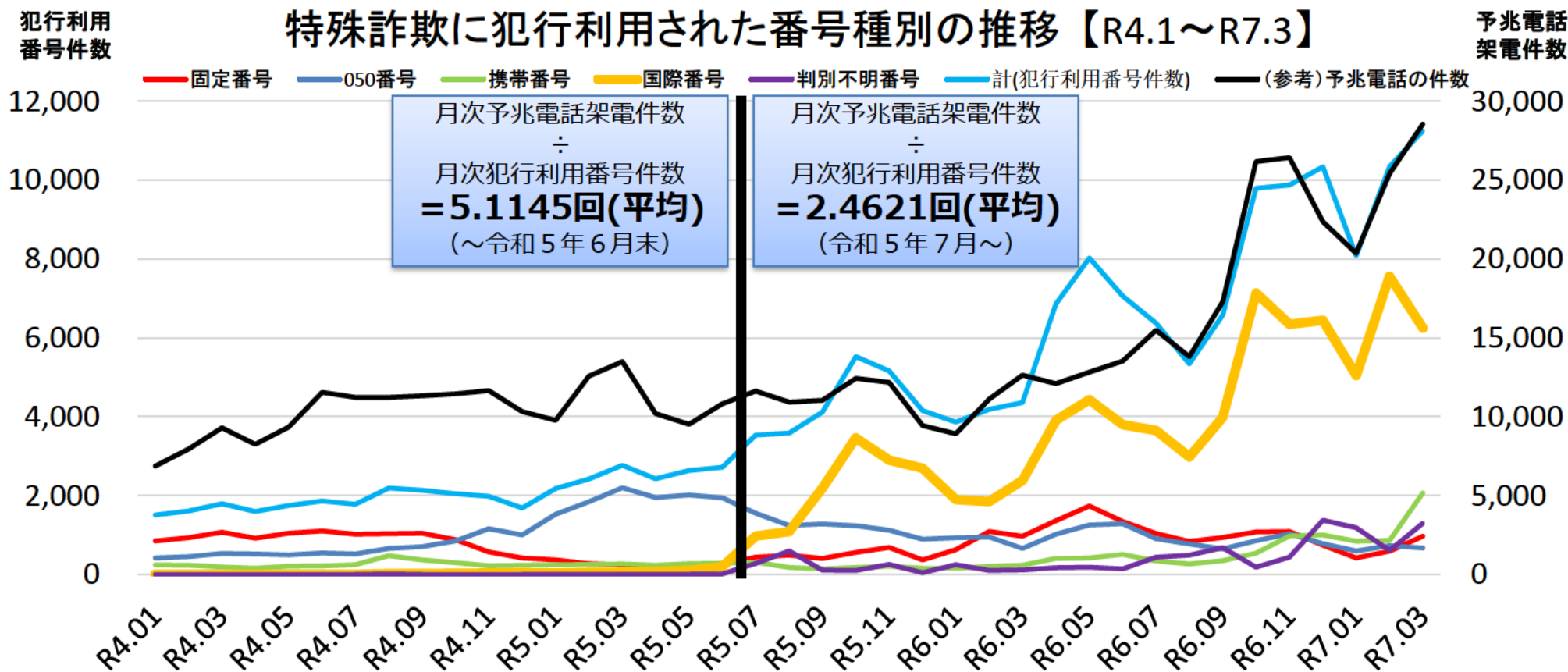


国際電話の犯行利用増加

○特殊詐欺に悪用される電話番号の種別では、令和5年の7月頃から、**国際電話番号が急増**。

○また、国際電話の増加とともに、**一つの電話番号あたりの犯行利用回数が減少している可能性**も示唆される。

特殊詐欺に犯行利用された番号種別の推移【R4.1～R7.3】



※ 予兆電話の件数は、電話で住所や氏名、家族構成、資産、利用金融機関等を確認されたり、特殊詐欺が疑われるようなことを言われたものとして、警察に申告があった件数。

※ 犯行利用番号の種別は、「特殊詐欺に犯行利用された電話番号数」として、都道府県警察から警察庁に報告された電話番号数を集計(予兆電話を含む。)

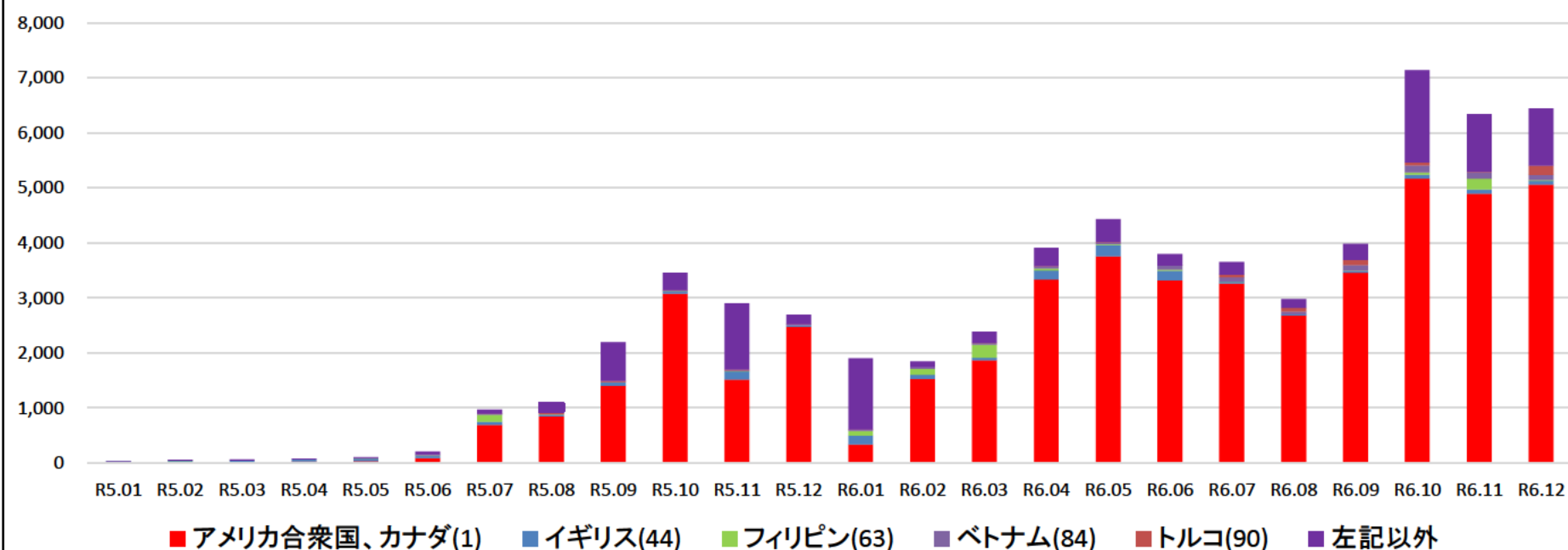
※ 判別不明番号は、桁数等から番号種別を判別できないものを集計。

※ 都道府県警察から報告された電話番号が重複する場合、1件として計上。ただし、月をまたいで同一番号の報告があった場合は、各月1件として計上。

※ 令和6年、7年数値については暫定値。

○特殊詐欺に犯行利用された国際電話番号のうち、**約8割が米国の電話番号**

国際番号の国別番号数の推移【R5.12～R6.12】



※ 令和6年、7年数値については暫定値。

※ 国名の()は電話番号の国選別番号。

警察官を騙る手口・電話番号を偽装する手口

ポイント

- 警察官をかたる特殊詐欺の犯人が、**実在する警察署等の電話番号を偽装して表示させる手口**を確認
- 「+」から始まる国際電話番号表示による偽装が多かったが、正規の電話番号表示による偽装も散見

※ 警察官等をかたる特殊詐欺の発生件数(被害額)は、令和7年1月502件(51.8億円)、2月537件(54.4億円)、3月855件(65.4億円)



警察官を騙る手口

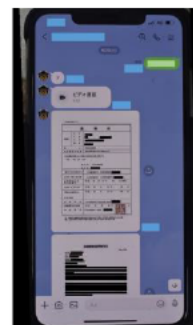
- ・メッセージアプリを使用して、**警察官、警察手帳、逮捕状等の画像**を送信等
- ・**捜査(優先調査)**による現金振込要求
- ・**現に使っている口座の全ての金額**を振り込むよう要求
- ・令和7年1月～3月の特殊詐欺被害額の**6割強**を占める。

【使用された画像例】

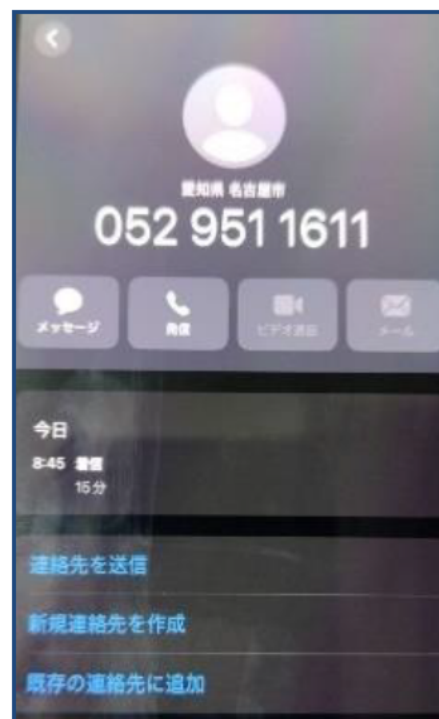


(ニセの警察官と手帳)

(ニセの逮捕状)



【着信履歴番号画像】



(提供:長崎県警察)

電話番号偽装による被害の事例

被害者の携帯電話に愛知県警察本部の代表電話番号(052 951 1611)から電話があり、それに出ると、**警察官を名乗る女等から「あなた名義の口座が不正に開設されており、あなたも資金洗浄事件の容疑者になっている」**等と電話があり、その後、**メッセージアプリのビデオ通話等で、警察官をかたる男から顔写真付きの警察手帳を示された上、「口座の資金を全て確認する必要がある」「一度お金を全て振り込んでもらい、資金調査を行う必要がある」**等と言われ、指示された口座にインターネットバンキングで現金250万円を振り込んだ。

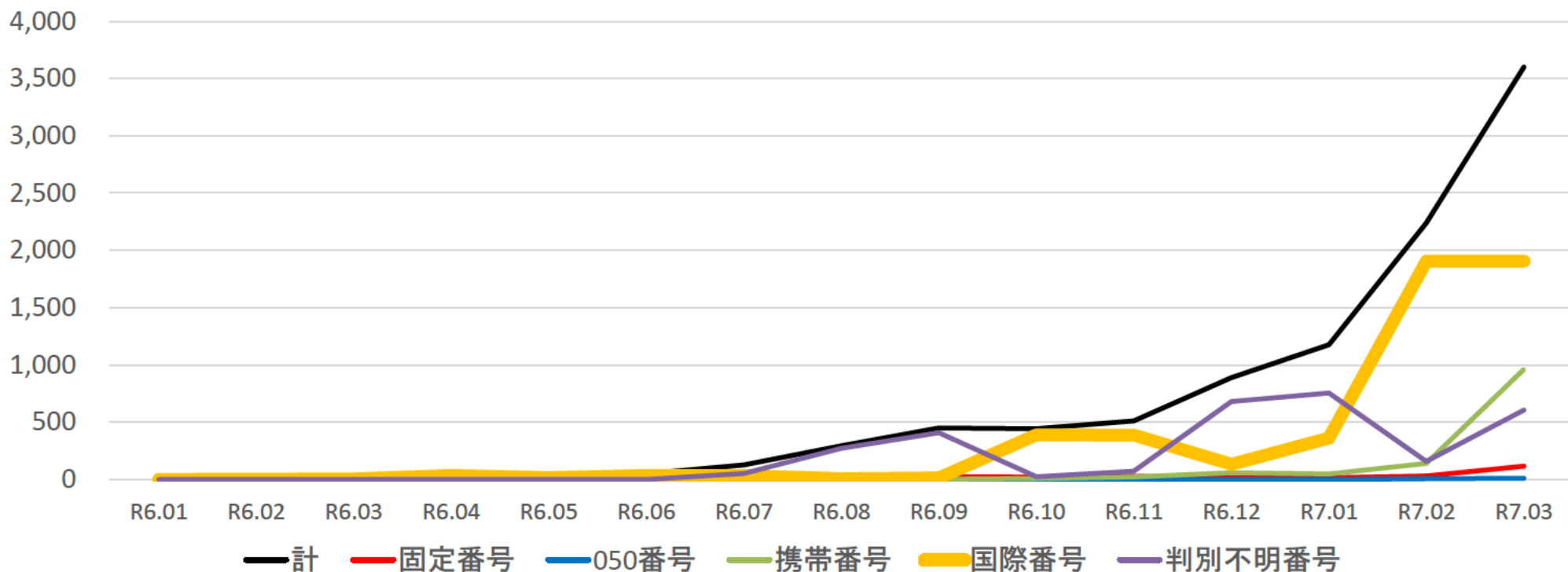
その後、最初に着信表示されていた愛知県警察本部の代表電話番号に電話をして確認したところ、詐欺であることが判明した。

警察官を騙る手口・電話番号を偽装する手口(続)

○正規の番号を偽装する手口とは別に、末尾が「0110」の電話番号を使用することで、警察からの電話に偽装する手口も見られる。

○悪用される番号の種別では、国際電話番号が多い。

末尾が「0110」である特殊詐欺犯行利用電話番号の月ごとの報告件数と内訳【R6.1～R7.3暫定値】



※ 「特殊詐欺に犯行利用された電話番号数」として、都道府県警察から警察庁に報告された電話番号数を集計(予兆電話を含む。)

※ 判別不明番号は、桁数等から番号種別を判別できないものを集計。

※ 都道府県警察から報告された電話番号が重複する場合、1件として計上。ただし、月をまたいで同一番号の報告があった場合は、各月1件として計上。

- 特殊詐欺の被害状況
- 近年の特殊詐欺被害の手口の特徴
 - ▶ 携帯電話利用の被害増加
 - ▶ 国際電話の犯行利用増加
 - ▶ 電話番号を偽装する手口
- いわゆる「闇バイト」による犯罪と政府の対応について

いわゆる「闇バイト」と令和6年8月以降に発生した一連の強盗等事件について

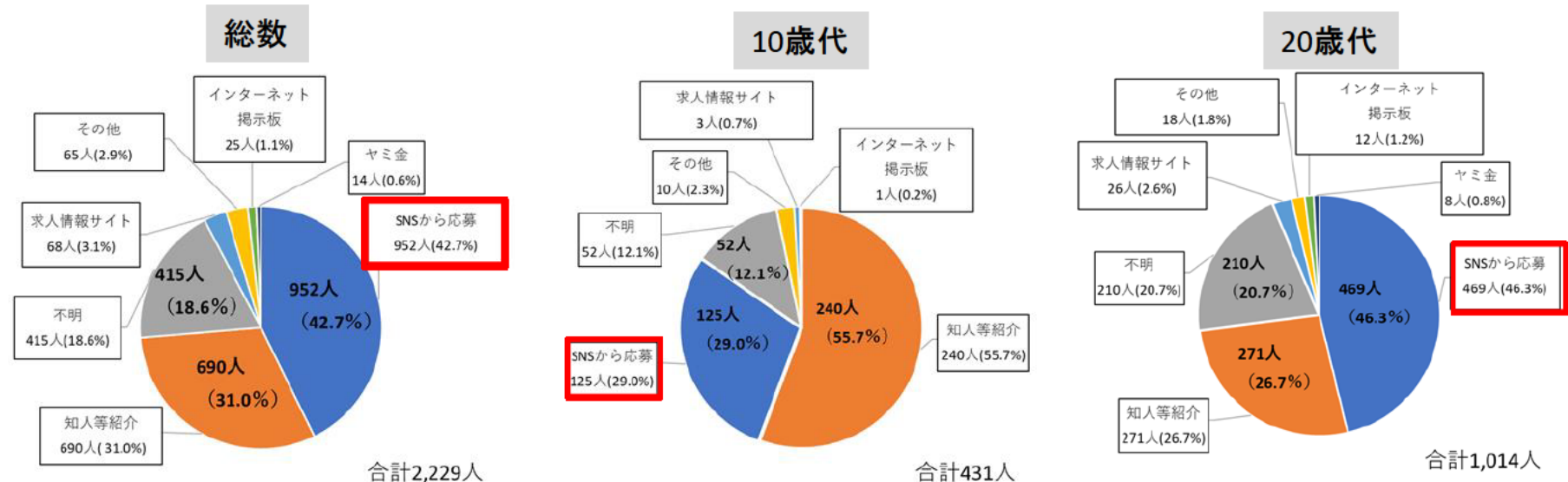
○概要

令和6年8月以降、関東地方において、一般住宅や質店に押し入り、現金や貴金属等を強取する強盗等事件が相次いで発生。被害者を死傷させるなど悪質なものの。

○特徴

- ・ 犯行グループの中核が、SNS等を利用して実行犯を募集
- ・ X等のSNSで「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等と投稿
- ・ 応募した者は、シグナル等の匿名性の高いアプリに誘導され、運転免許証等の個人情報を送信させられ、脅迫される例も
- ・ 応募して実行犯となった者の多くは、20歳代以下の若年層であり、生活苦や借金返済等を理由に、金銭目当てで応募した旨供述

【参考】特殊詐欺の受け子等になった経緯についての調査



* 令和6年中に検挙した被疑者を対象とし、その供述等から集計したもの。

(参考) いわゆる「闇バイト」による強盗事件等から 国民の生命・財産を守るための緊急対策①

緊急対策

1 「被害に遭わせない」ための対策

- SNS等を利用した犯罪の捜査上の課題に対応するためのSNSアカウントの開設時の本人確認の強化を含む措置について検討を行うほか、事業者に対して本人確認の厳格化を要請する
- 犯罪の発生実態等を踏まえ、防犯カメラの増設が必要な場所を整理するほか、地域社会の多様な関係者に保存期間の十分な防犯カメラの増設を働き掛けていく。
- 新しい地方経済・生活環境創生交付金については地域防犯力の強化を推奨すべき事業として明示し、地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）については地域防犯力の強化を推奨事業メニューとして特別に明示し、これを自治体に周知徹底することにより確実に防犯カメラの整備が行われるように支援する。

2 「犯行に加担させない」ための対策

- 「闇バイト」の募集情報の実効的な削除に資するよう、労働者の募集を行う者が広告等により募集情報を提供するときは、職業安定法に基づき、求人者の氏名又は名称・住所・連絡先、業務内容、就業場所及び賃金の表示が求められ、これらの表示がないものについては違法である旨を通知により明確化し、広く周知徹底する。フリーランスに対する業務委託の募集についても、同様の対策を講じる。
- 検討中の違法情報ガイドラインにおいて、「闇バイト」を募集することや、募集者の氏名等が含まれていない募集広告が職業安定法等に違反する旨の記載を盛り込む方向で検討を進める。あわせて、プラットフォーム事業者に対し、同ガイドラインにおける記載内容を各者の削除等に関する基準に盛り込むよう求める。
- 雇用仲介事業者に対し、「闇バイト」に関する求人情報の掲載防止のための取組内容を確認し、必要に応じ、事前審査の厳格化を始めとした防止措置の強化など指導等を行うとともに、業界団体においても「闇バイト」に関する求人情報の掲載防止のための取組を推進する。
- 若者に訴求力の高い著名人にSNS上に「闇バイト」等の危険性等について投稿を要請するほか、ターゲティング広告やアドトラックの活用等、その他の媒体や方法の拡充を図る。
- インターネット上の違法情報の削除要請を行うインターネットホットラインセンターの体制の更なる増強に取り組む。

(参考) いわゆる「闇バイト」による強盗事件等から 国民の生命・財産を守るための緊急対策②

緊急対策

3 「犯罪者のツールを奪う」ための対策

- 個人情報悪用事業者等に対して、個人が個人情報を提供する事例も見受けられることから、警察からの情報提供を踏まえ、個人情報に係る規律を周知するなど、国民が自らの個人情報を適切に取り扱うための広報啓発を更に推進する。
- 「闇バイト」等による強盗事件等の捜査においては、被害金の追跡を行うに当たって、金融機関に照会を行う必要があるところ、金融機関への照会・回答の迅速化を図る。

4 「犯罪者を逃さない」ための対策

- 現行法の範囲内で実施可能な仮装身分捜査の在り方を検討し、ガイドライン等で明確化した上で、早期に仮装身分捜査を実施する。
- 警察におけるサイバー犯罪対策部門の更なる体制強化、各種装備資機材の充実強化、幹部警察官や技術系職員を含む警察職員に対するサイバー教育の更なる充実強化に取り組むほか、更なる情報技術解析の高度化に向け、外国機関との連携等を行う。
- 諸外国の例を参考にしたインターネットサービスの悪用の実効的排除に資する法制度の調査・検討を行う。
- 海外事業者の日本法人窓口の設置の働きかけなど情報提供の迅速化のための環境整備を行う。

連続強盗事件等を踏まえた防犯対策に関する警察の取組①

犯罪実行者募集投稿への警告・削除

募集投稿に対する個別警告

- X上で発信されている犯罪実行者募集投稿に対し、警察庁において返信（リプライ）機能を活用した投稿者への迅速な個別警告を実施

※令和6年4月～令和7年3月の間の個別警告件数：6,346件

募集投稿に対する削除依頼

- 犯罪実行者募集投稿に対し、インターネット・ホットラインセンター（IHC）によるSNS事業者等への削除依頼を実施

※令和6年中の犯罪実行者募集情報への対応件数

①判断件数 13,852件

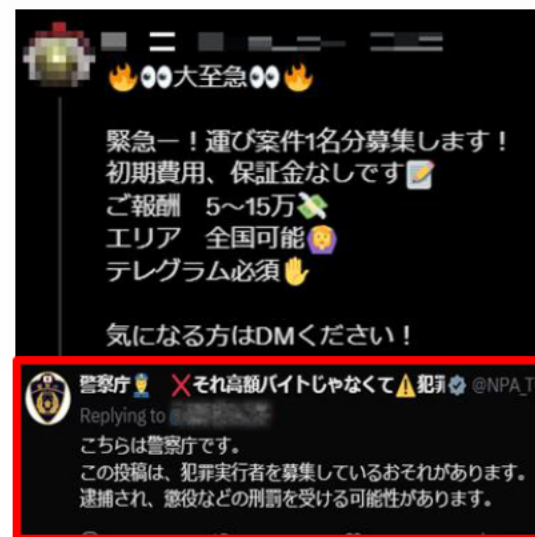
(通報されたもののうちIHCが犯罪実行者募集情報と判断した件数)

②削除依頼件数 9,234件

③削除完了件数 7,860件

※令和7年1月～3月までの間の犯罪実行者募集情報への対応件数

①判断件数 1,793件



リプライによる個別警告



CPC・IHCの運用

警察庁が事業委託するサイバーパトロールセンター(CPC)及びインターネット・ホットラインセンター(IHC)において、犯罪実行者募集情報の把握とSNS事業者等への削除依頼を実施

連続強盗事件等を踏まえた防犯対策に関する警察の取組②

○警察における緊急の対策

警察からの呼び掛け

○脅迫されていることを理由に犯罪に加担しようとする者へ警察への相談や、保護を行う旨の呼び掛け

⇒呼び掛けを行ってから警察が保護措置を講じたもの：317件

* 令和6年10月中旬から令和7年3月31日までに警察庁に報告があったもの

警察による警戒の強化

○深夜帯における住宅地周辺の警戒活動の強化

○職務質問の徹底



公式Xや公式YouTubeで
犯罪に加担しようとする者等に対して
警察庁から呼びかけ



SNSなどで求人情報を探している方へ

令和6年10月25日
警察庁生活安全企画課

犯罪実行者募集情報の特徴

犯罪実行者の募集は、通常のアルバイト募集のように見えても、2つの大きな特徴があります。それは、

- X等のSNSで「高収入」「即日即金」「ホワイト案件」等、「楽で、簡単、高収入」を強調する
- シグナルやテレグラムといった匿名性の高いアプリに誘導して個人情報を送信させ、脅迫する

というものです。この種の求人には応募しないとの意識を社会全体で共有することが重要です。

犯罪実行者募集情報の特徴を
まとめた資料（警察庁HPに掲載）

○補正予算等による対応

○地域防犯力の強化への支援

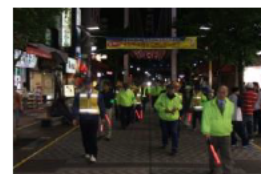
- ・ 地方自治体や地域による防犯カメラ等の整備
- ・ 青色回転灯等装備車（青パト）や資器材等

○広報啓発の強化

- ・ ターゲティング広告やアドトラックの活用



青色回転灯等装備車



防犯ボランティアのパトロール活動



ターゲティング広告



アドトラック

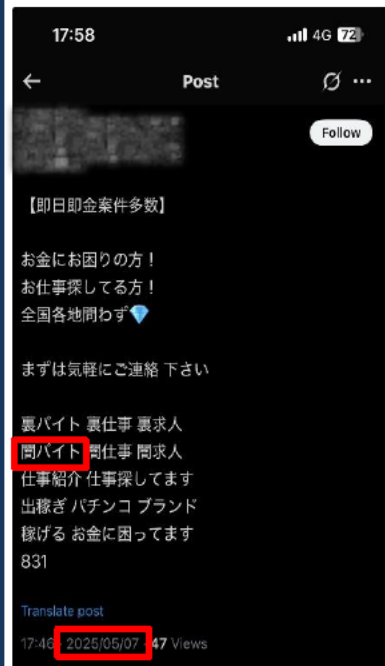
いわゆる「闇バイト」に応募した者に対する脅迫の事例

○「X」で「高額収入」と書かれた投稿を見て「シグナル」に誘導され、氏名や住所、生年月日、携帯電話番号、免許証の写真等を送信。相手から仕事の誘いがあったが、仕事の内容から犯罪になると思い、断り続け、「シグナル」等のアプリをアンインストールしたところ、「LINE」で「お前、逃がさないからな。」といったメッセージと自分の個人情報全て送られてきたことから怖くなった。

犯罪実行者募集情報の流通状況

○令和7年5月現在も犯罪実行者募集情報は引き続き流通しており、SIMカードの売買や、認証代行を勧誘する投稿も確認されている。

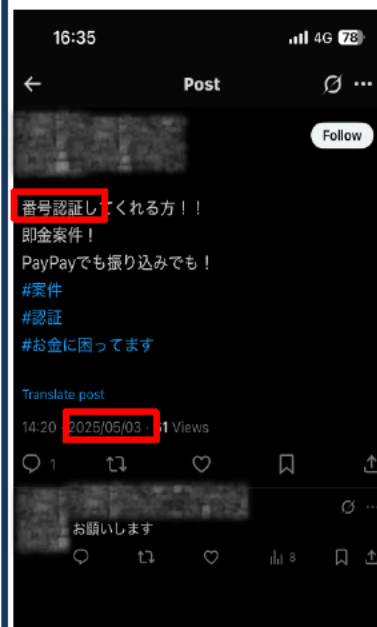
○犯罪実行者募集情報① 内容詳細不明 (5月7日投稿)



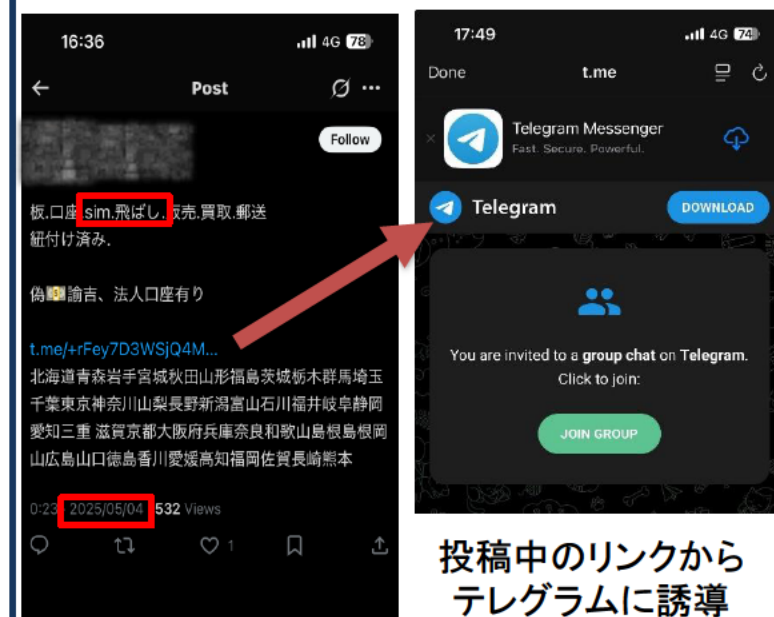
○犯罪実行者募集情報② 内容: SIMカードの売買 (5月6日投稿)



○犯罪実行者募集情報③ 内容: 認証代行 (5月3日投稿)



(参考) SIMカードを販売していると 思われる道具の投稿 (5月4日投稿)



投稿中のリンクから
テレグラムに誘導